

市民社会をつくる

ボランティア フォーラム

TOKYO
2022

みんなで作る。
だから、オモシロイ。

2022年

2/11(金) 12(土) 13(日)

飯田橋セントラルプラザ^{及び}
オンラインで開催

3日間にわたり、様々な社会問題に焦点をあてた24の分科会を開催します。

主催：東京ボランティア・市民活動センター

企画運営：市民社会をつくるボランティアフォーラムTOKYO2022実行委員会

後援：東京都、特定非営利活動法人日本NPOセンター

特別協賛：株式会社三菱UFJ銀行

協賛：NECネットエスアイ株式会社、NPO法人モバイル・コミュニケーション・ファンド
公益財団法人SOMPO環境財団、公益財団法人SOMPO福祉財団
公益財団法人日本社会福祉弘済会、公益財団法人日本テレビ小鳩文化事業団
社会福祉法人テレビ朝日福祉文化事業団、東京都生活協同組合連合会
トヨタ自動車株式会社

協力：株式会社ガイア、社会福祉法人清水基金、生活協同組合パルシステム東京、
中央労働金庫、モンデリーズ・ジャパン株式会社

(五十音順)

参加費

1分科会：1,000円

申込方法

ホームページをご覧ください。

詳細・申し込みはコチラ!!

フォーラムホームページ

<https://tvac.or.jp/vf/>

ボランティアフォーラム 検索



お問い合わせ

東京ボランティア・市民活動センター

TEL:03-3235-1171

FAX:03-3235-0050

Facebook:@voluntaryforumtokyo「市民社会をつくるボランティアフォーラムtokyo」 / Twitter:@voluntaryforum / Instagram:@voluntaryforum

市民社会をつくるボランティアフォーラムTOKYO2022

趣旨

「市民社会をつくるボランティアフォーラムTOKYO」は、私たちの暮らしに関わる様々な社会問題に焦点をあて、それを共有し、私たち市民にできることを考えていくためのイベントとして、2004年から開催しています。企画運営は実行委員会形式で、分野、地域、セクターを横断したボランティア・市民活動に関わるメンバーで組織しています。

毎年、参画した実行委員同士で問題意識を持ち寄り、協議を重ね、いま取り組みたい社会課題などを発信しています。

また、今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、フォーラム当日も多くの方が安心して参加できるようオンラインを併用するなど、対策をしながら取り組みます。

このコロナ禍で生まれた分断の広がりや危惧され、多様な人とつながりを持つことがあらためて見直されているいま、今年のテーマを「みんなで考える。だから、オモシロイ。」としました。

誰一人取り残さないように、みんなで社会の課題に向き合い、考え、取り組むことの大切さをあらためて伝えたいという想いをテーマに込めました。

このフォーラムは、参加者のみなさんの声や想いを大切に、誰でも参加できる「市民活動・市民社会」を考える機会にしたいと思います。みなさんのご参加をお待ちしています。

参加方法



会場参加のみ



オンライン(Zoom)参加のみ



会場参加かオンライン(Zoom)参加
どちらか選んでください

日時・会場

日	時間	飯田橋セントラルプラザ				フィールドワーク	区境 ホール	
		12階		10階				
		AB	CD	B	A			
2月12日(金)	13:30 }	1				29		
	15:00	オープニング コロナ禍からの、ニューボランティア(参加費無料)						
2月12日(金)	16:00 }	2	3	4				
	18:00	急増する孤独死は人ごとではないPart3 ~コロナで進んだデジタル化 孤独・孤立と高齢者のつながりづくり~	孤独・孤立に立ち向かう ~連携でつくりだす新たなセーフティネット~	オリンピック・パラリンピックのボランティアはこれからの日本を支える力(レガシー)になるのか?				
2月12日(土)	10:00 }	5	6	7	8	9	28	
	12:00	地域と学校のかかわりの継続や開始のための工夫を集めよう!	「子ども基本条例」から私たちの思いをひろげ、つながるために	「2025年問題」高齢者男性を置き去りにしてはならない ~男性の介護は厳しく想像を超える~	私が見つけた「ボランティアの価値」	フードロスから自分にできること考えよう。「食」でつながる ~フードバンク見学~		ふれあい満点市場 11:00 ~15:00
	13:00 }	10	11	12	13			
	15:00	ボランティア・市民活動センターに障がい当事者の参画はできている? ~みんながつくる、みんなのセンター~	地域で、いろんな分野で活動しているみなさん! 災害が起きたらどうなるか話してみませんか?	みんなで考える!ワカモノ活躍法	病気のある子どもたちの地域での学びの場づくりをめざして ~NPOでの相談からみえる課題とかかわりの可能性~			
	16:00 }	14	15	16	17			
	18:00	コロナ禍での居場所づくりの変容 ~外部支援者から見た居場所づくりの現状と課題~	地域が動くと社会が変わる! ~みんなで行動する、ソーシャルアクションって?~	企業とのパートナーシップで「ミライ」を変える ~企業連携の実際と可能性~	発達障害がある父母のための子育て支援について考える			
18:30 }	18							
19:30	会場&オンライン交流会「オモシロイ」(参加費無料)							
2月13日(日)	10:00 }	19	20	21	22	28		
	12:00	温暖化は止められる!? ~東京でできること~	重度心身障がい児の外出を実現する活動から「差別」を考える。	ロビイングでより効果的な社会課題の解決を目指そう!	コロナ禍でも活動を続けるために、助成金を活用しよう ~助成団体や中間支援組織にできること~		ふれあい満点市場 11:00 ~15:00	
	13:00 }	23	24	25	26			
	15:00	貧困問題の「今」を知る ~見えにくい外国人の貧困にどう取り組むか~	対話から始めよう!私たちの選択の自由と未来	市民活動の引き継ぎ方を考える	失われたキャンパスライフ。学生に及ぼす心理的影響を知る。 ~若者と関わる大人たちができること~			
15:30 }	27							
17:00	クロージング TVAC 40周年記念座談会「東京ボランティア・市民活動センターのこれまでとこれから」(参加費無料)							

分科会

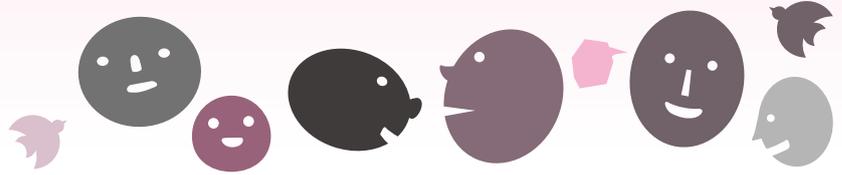
分科会とはテーマごとに、考えたり、話し合ったり、研究したりする会のことです。

 **きいてみよう**
出演者やパネリストの話を
聞くことが中心

 **みてみよう**
作品を鑑賞したり、外に
出かけて実際にみたりする
ことが中心

 **はなしてみよう**
出演者やパネリストと参加者
同士で話し合うことが中心

 **はじめてでも大丈夫**
初心者の方でも参加できる



1日目 | 2月11日(金)

1

2月11日(金)
13:30~15:00

 **会場**
定員: 40人

 **オンライン**
定員: 200人

オープニング コロナ禍からの、ニューボランティア

 きいてみよう  はじめてでも大丈夫

出演 コーディネーター：枝見 太朗さん (一般財団法人富士福祉事業団 理事長)
コロナ禍で多様な活動に取り組んだ人たち

**参加
無料**

コロナ禍によって、私たちの生活様式は変化し、たくさんのことが出来なくなりました。その中で、感染対策を施したオリンピック・パラリンピックやオンラインでのボランティアなど、工夫を凝らしてボランティア活動に取り組んでいる方々があります。このオープニングで、新しい社会でのボランティア活動への熱い想いを共有して、ここから始まるフォーラムと一緒に盛り上げていきましょう!

● ボランティアフォーラムの分科会に参加する人のみ申し込みできます。

2

2月11日(金)
16:00~18:00

 **会場**
定員: 20人

 **オンライン**
定員: 200人

急増する孤独死は人ごとではない Part3

～コロナで進んだデジタル化 孤独・孤立と高齢者のつながりづくり～

出演 石田 光規さん (早稲田大学社会学 教授 (ネットワーク論、人間関係論))
河野 哲男さん (大阪府高槻市 サンヴェール高槻サンシニア会 副会長)
竹ノ内 英明さん (大阪府高槻市 サンヴェール高槻自主防災自治会 会長)
石本 有樹さん (CHAIN 株式会社 代表取締役)

 きいてみよう

こんな方に
おすすめ!

● 行政 ● 社会福祉協議会 ● 高齢化が進む集合住宅・自治会 ● 町会

コロナ禍によって、孤立が急増しました。集合住宅の単身高齢者の孤立化は、日本全国の問題となっています。ICT化が進む中、単身高齢者は取り残されないでしょうか?そこで今回は、①時代の変化に伴う現在の孤独・孤立とおひとり様文化のメカニズム (専門家による解説)、②集合住宅自治会による住民同士の支え合い、③行政の高齢者へのデジタルデバインド施策とその実態など3つの切り口で孤独・孤立への対策と施策及び今後の課題と現実について考えます。

3

2月11日(金)
16:00~18:00

 **会場**
定員: 10人

 **オンライン**
定員: 30人

孤独・孤立に立ち向かう ～連携で作りだす新たなセーフティネット～

出演 井村 良英さん (認定NPO法人育て上げネット 執行役員)
伊藤 晃さん (多摩少年院 統括専門官)
久保田 淳さん (東京フットボールクラブ株式会社 地域コミュニティ本部長 社会連携推進部長)

 きいてみよう  はなしてみよう

 はじめてでも大丈夫

こんな方に
おすすめ!

● 孤独・孤立の対策に関心がある方
● スポーツを通じて、社会課題の解決に関心がある方

社会的な孤独・孤立が、大きな課題となっています。個人が抱える生きづらさの課題は複雑化しており、従来の取り組みだけでは十分ではありません。多様な連携によって、ひとりひとりに寄り添っていくことが求められます。この分科会では、分野や組織を超えて、孤独・孤立に取り組む協働事例をとりあげ、各地域で実践が広がっていくきっかけにします。

4

2月11日(金)
16:00~18:00会場
定員: 20人オンライン
定員: 100人

オリンピック・パラリンピックのボランティアは これからの日本を支える力(レガシー)になるのか?

出演 オリンピック・パラリンピック開催関係者
オリンピック・パラリンピック ボランティア体験者

🗣️ きいてみよう 🗨️ はじめてでも大丈夫

2020東京オリンピック・パラリンピックはその歴史上初めてほとんどが無観客で実施されました。ボランティアがいなければ開催は不可能だったと言われるオリ・パラではどのようなコーディネートやマネジメントが行われていたのでしょうか? 現場を体験した人々は何を感じ、今後の生活にどのような影響を与えるのかを検証します。

こんな方におすすめ!

- オリンピック・パラリンピック ボランティア体験者
- 一般市民

2日目 | 2月12日(土)

5

2月12日(土)
10:00~12:00会場
定員: 15人オンライン
定員: 20人

地域と学校のかかわりの継続や開始のための工夫を集めよう!

出演 宮崎 雅也さん(日野市社会福祉協議会)
佐々木 宏さん(東京都立総合芸術高等学校)
田丸 精彦さん(NPO法人VCAS)
白石 珠美さん(狛江市社会福祉協議会)

🗣️ きいてみよう
🗨️ はじめてでも大丈夫

地域のボランティアセンターやNPO法人などが、学校との新たな関わりや今ある活動の継続を考えてもうまくいかないことがあります。学校との関わりを続けるための仕組み、学校と地域を結ぶための枠組み、ボラセンから学校や地域にアプローチをした事例など、学校の事情や予算など踏まえた、先生の心を動かす仕掛け。それぞれの次のステップに移行するための工夫を増やしませんか。

こんな方におすすめ!

- 学校との関係を深くしたいボランティアセンター職員、NPO関係者、教育関係者

6

2月12日(土)
10:00~12:00会場
定員: 20人オンライン
定員: 49人

「子ども基本条例」から私たちの思いをひろげ、つながるために

出演 中嶋 麻理子さん(東京都福祉保健局少子社会対策部 子供・子育て計画担当課長)
阿部 泰尚さん(いじめ探偵 NPO法人ユース・ガーディアン代表)
高祖 常子さん(にっぽん子ども・子育て応援団運営委員)

🗣️ きいてみよう 🗨️ はじめてでも大丈夫
🗨️ はじめてでも大丈夫

都議会の「東京都子ども基本条例」制定や、特別区の児童相談所の設置など、子どもの問題を対策している行政・自治体の動きに合わせて、私たちも行動を共にする時期に来ていると思われまます。行政と連携した子ども支援の実践活動を伺って、私たちが出来る取り組みについて考えていきます。

こんな方におすすめ!

- 子ども関係の行政・自治体担当者
- 子ども支援活動に携わっている方
- 地域で子ども活動に取り組んでいる方

7

2月12日(土)
10:00~12:00会場
定員: 10人オンライン
定員: 30人

「2025年問題」高齢者男性を置き去りにしてはならない ～男性の介護は厳しく想像を超える～

出演 村山 陽さん(東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健研究チーム主任研究員)
北原 理良子さん(NPO法人杉並介護者応援団 理事長)

🗣️ きいてみよう
🗨️ はじめてでも大丈夫

「結婚大好き世代」「パワーゲーム大好き世代」に生きてこられた後期高齢者男性に焦点をあてて話をしてみませんか。心身が不自由になっても、自ら施設や介護サービスを利用したいと思わない。そのような男性の介護は誰がどのように行えるのか。配偶者・子ども、孫などに負担をかけないために地域で今から何が出来るか考えてみたいと思います。

こんな方におすすめ!

- 高齢男性
- 高齢男性の家族(配偶者・娘・息子・息子嫁・孫など)
- 介護に従事している方

8

2月12日(土)
10:00~12:00オンライン
定員: 49人

私が見つけた「ボランティアの価値」

出演 神保 秀久さん(東京都障害者スポーツ指導員協議会)
澤佐 景子さん(おもちゃの図書館東京連絡会)
関谷 駿太さん(東京都立大学ボランティアセンター)
高 恵芬さん(日本名: タムラ エミ・国際交流 OTA-Smile 代表 元国際都市おおた大使)🗣️ きいてみよう > 👤 はなしてみよう
👉 はじめてでも大丈夫

東京2020オリ・パラをきっかけに、多くの方がボランティアに注目しました。ボランティアと一口にいってもその内容は様々です。この分科会は、活動を行っている方に、活動を始めたきっかけや、大切にしていることをお話しいただき、多くの方にボランティアについて知る機会にしたいと思います。

こんな方に
おすすめ!

- 中学生、高校生、大学生で、ボランティア活動に興味がある、または活動をしている方
- ボランティアセンター、中間支援組織、大学ボランティアセンター職員 ●ボランティア

9

2月12日(土)
10:00~12:00フィールドワーク
定員: 20人フードロスから自分にできること考えよう。
「食」でつながる ~フードバンク見学~出演 一般社団法人 あじいる
企業組合 あうん🗣️ きいてみよう 👁️ みてみよう
> 👤 はなしてみよう 👉 はじめてでも大丈夫

コロナ禍により、国内の至る所で格差社会がより一層広がり、生活困窮者への食料支援が課題の一つとなっています。その一方で、飽食により生産された食品が廃棄されてしまう「フードロス」も生じており、今こそ一人ひとりの問題意識の向上が必要です。この「フードロス」に着目し、現状や原因などを学び、実際に生活困窮者を支える「フードバンク」等、多岐にわたって取り組みを行っている団体の活動に触れながら、理解を深め、改めて皆にとつての「食」、そして「食」を通じた支援のあり方を考えたいと思います。

こんな方に
おすすめ!

- フードロス、フードバンクに興味のある方 ●フードバンクの活動に関わっていきたくて考えている方
- フードバンクの立ち上げを考えている行政、中間支援組織、企業の方

10

2月12日(土)
13:00~15:00会場
定員: 20人
オンライン
定員: 40人ボランティア・市民活動センターに障がい当事者の参画はできている?
~みんながつくる、みんなのセンター~

出演 ボランティア・市民活動センターの運営委員のみなさん

🗣️ きいてみよう > 👤 はなしてみよう
👉 はじめてでも大丈夫

ボランティア・市民活動センターに市民の参画が重要であることを本フォーラムでも様々な角度で伝えてきました。あらためて、市民とは誰のことかを考えると、分野も立場も属性も多様で幅広い人のことといえるのではないのでしょうか。運営委員会など参画する仕組みが増えてきている一方で、特に障害のある当事者の参画についてはどうなのかを参加者と一緒を考える機会にしたいです。

こんな方に
おすすめ!

- 障がいなどの当事者 ●ボランティア、市民活動センターを使っている・使ってみたくて思っている人
- ボランティア、市民活動センターの職員や関係者 ●行政関係者など

11

2月12日(土)
13:00~15:00会場
定員: 20人
オンライン
定員: 20人地域で、いろんな分野で活動しているみなさん!
災害が起きたらどうなるか話してみませんか?出演 柴田 裕子さん(認定NPO法人ジャパン・プラットフォーム(JPF))
三藤 和寛さん(武蔵野市民社会福祉協議会 ボランティアセンター武蔵野)
地域における多様な取り組みの事例報告者

🗣️ きいてみよう > 👤 はなしてみよう

首都直下地震が懸念される東京は、人口が多く、多様な人々が暮らしています。東京都災害ボランティアセンター アクションプラン推進会議では、2021年4月に「災害時のための 市民協働 東京憲章」を策定し、多様性を尊重し、活かすことと、平時からの取り組みが重要だとしています。平時の活動がいざという時にどう力になるのか、みんなでお話しましょう。

こんな方に
おすすめ!

- 被災者支援に限らず平時から子どもや高齢者、障がい者、外国人に関わるNPO・ボランティアをしている方
- 自主防災組織、ボランティア・市民活動センターの方など

122月12日(土)
13:00~15:00 **オンライン**
定員: 20人

みんなで考える!ワカモノ活躍法

出演 東樹 康雅さん(一般財団法人東京都つながり創生財団)
和嶋 美莉奈さん(立教大学卒業生)
千葉 龍聖さん(神奈川大学2年生) きいてみよう >  はなしてみよう
 はじめてでも大丈夫

学生時代にボランティア活動や地域活動に取り組む若者は多い一方で、社会人になってからも活動を行う人は減ってしまうことがあります。

本分科会では、現役大学生、若手社会人、中間支援それぞれ3者のお話をもとに、どのような環境があると若者が活動しやすい社会になるか参加者の皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

こんな方におすすめ!

- 若者の社会参加に関心のある人
- 今後何か活動してみたいと考えている若者

132月12日(土)
13:00~15:00 **オンライン**
定員: 30人

病気のある子どもたちの地域での学びの場づくりをめざして ~ NPO での相談からみえる課題とかわりの可能性 ~

出演 西 朋子さん(認定NPO法人ラ・ファミリエ)
越智 彩帆さん(認定NPO法人ラ・ファミリエ) きいてみよう
>  はなしてみよう

医療技術の進歩により、病気と付き合いながら暮らす子どもが増えています。しかし、どのような不安や悩み、希望があるか等、まだまだ知られていません。課題の全体像をお話いただいた上で、「学習支援」の事例をもとに話し合います。ボランティア育成・参加や新たな活動の創出等、かわりの可能性を一緒に考えてみませんか。

こんな方におすすめ!

- 相談支援や学習支援に携わっている方
- 中間支援組織で働いている方

142月12日(土)
16:00~18:00 **会場**
定員: 20人
 **オンライン**
定員: 50人

コロナ禍での居場所づくりの変容 ~外部支援者から見た居場所づくりの現状と課題~

出演 稲葉 隆裕さん(荒川区社会福祉協議会)
関 真弓さん(NPO法人都市住宅とまちづくり研究会)
山田 翔太さん(一般財団法人世田谷トラストまちづくり) きいてみよう
>  はなしてみよう

密集・密接を目指してきた居場所づくり。コロナ禍により「集う」意味が一変しました。住民主体の居場所づくりをエンパワーメントしてきた中間支援組織等に所属する外部支援者は現状をどのように捉えているのでしょうか。コロナ禍で地域交流や居場所づくり、支援の形がどのように変容したのかを支援者の視点からご紹介し、今後のあり方について話し合います。

こんな方におすすめ!

- 居場所づくりをしている人
- これから始めたい人
- 居場所づくりや地域交流をコーディネートしている人

152月12日(土)
16:00~18:00 **会場**
定員: 20人
 **オンライン**
定員: 30人

地域が動くと社会が変わる! ~みんなで行動する、ソーシャルアクションって?~

出演 木下 大生さん(武蔵野大学 人間科学部 教授)
及川 信之さん(NPO法人らいおんはーと)
毛塚 香恵子さん(ケアラーパートナー ~木の根っこ~)
認定NPO法人文化学習協同ネットワーク きいてみよう >  はなしてみよう
 はじめてでも大丈夫

コロナ禍によって孤立化・深刻化など地域での社会生活に制約や変化がおきました。「変わってしまった社会」を変えていくために、事業で対応するだけでなく、問題を広く市民に理解してもらい、様々な形での参加を呼びかけ、制度やしぐみでの対応を求めていくなどのソーシャルアクションと呼ばれる取り組みをする、「運動性」がいまこそ求められているといえます。具体的にはどうやったらできるのでしょうか。身近な地域で広げられているアクションをヒントに考えます。

こんな方におすすめ!

- ボランティアグループ
- NPOで活動している人
- 閉塞的な社会の雰囲気なんとかしたい!と思っている人

16

2月12日(土)
16:00~18:00

会場
定員: 10人

オンライン
定員: 15人

企業とのパートナーシップで“ミライ”を変える ～企業連携の実際と可能性～

出演 安倍 正浩さん (株式会社アベ企画代表取締役)
有吉 徳洋さん (株式会社ソーケン製作所 会長)

🗣️ きいてみよう
> 👤 はなしてみよう

SDGs 推進に熱心な企業も増えてきており、企業とNPO等が連携する事例も出てきましたが、まだまだ一部の企業・団体に限られ、連携して効果的に活動するイメージが掴みづらい状況にあります。この分科会では、実際に地元に着実に社会貢献に取り組む企業の連携事例をもとに、今後の市民活動と企業との連携の可能性を探りたいと思います。

こんな方におすすめ!

- NPO・市民活動・ボランティア団体
- NPO・市民活動・ボランティア団体と連携したいと考えている企業
- 中間支援組織
- 行政

17

2月12日(土)
16:00~18:00

オンライン
定員: 30人

発達障害がある父母のための子育て支援について考える

出演 飯田 法子さん (大分大学 福祉健康科学部 准教授)
Yummy (発達障害がある当事者・本分科会実行委員)
グラフィックレコーディングファシリテーター
発達障害がある子育て当事者 (録画またはアンケートを予定)

🗣️ きいてみよう
👤 はじめてでも大丈夫

発達障害者支援法の公布から17年。当時子どもだった人も子育て世代になってもおかしくない年月です。しかし、当事者が親になった時に得られる支援は現在十分とは言えません。原因の一つは、発達障害の当事者が親になる時、何に悩み、戸惑い、どんな助けが必要かが認知されていないからではないでしょうか。そこでこの分科会は、当事者の声、有識者の調査結果からニーズや必要な支援を探る機会とします。

こんな方におすすめ!

- 保健センター・子育て支援センター担当者
- 社会福祉協議会及び行政関係者
- NPO・市民活動、ボランティア団体関係者

18

2月12日(土)
18:30~19:30

会場
定員: 40人

オンライン
定員: 200人

会場&オンライン交流会「オモシロイ」

🗣️ きいてみよう > 👤 はなしてみよう

出演 参加者の皆さん、実行委員

参加
無料

分科会の時間だけでは話さきれない!! もっと参加者同士で話したい!
そんな参加者の皆さんや出演者、実行委員などが、オンライン&オフラインで自由に語り合える場です。
いくつかの部屋に分かれて交流し、途中で部屋を移動することもできます。
※オンラインでの参加では、Zoomの最新版のダウンロードが必要です。

- ボランティアフォーラムの分科会に参加する人のみ申し込みできます。



3日目 | 2月13日(日)

19

2月13日(日)
10:00~12:00

会場
定員: 20人

オンライン
定員: 20人

温暖化は止められる!? ～東京でできること～

出演 高森 郁哉さん (一般社団法人多摩循環型エネルギー協会 理事)

🗣️ きいてみよう > 👤 はなしてみよう
👤 はじめてでも大丈夫

国は、温室効果ガスである二酸化炭素の排出を2050年までに実質ゼロをすることを目標に掲げ、動き出しました。しかし、温暖化を抑制するためには、私たち一人ひとりの行動も重要になります。この分科会では、東京で行われている温暖化抑制の取り組みを学び、私たちができること、今から始められることを考えます。

こんな方におすすめ!

- 環境のために何かしたいと思っている方

20

2月13日(日)
10:00~12:00会場
定員: 20人オンライン
定員: 49人

重度心身障がい児の外出を実現する活動から「差別」を考える。

出演 高橋 育恵さん (NPO法人重度心身障がい児・者親子の会スマイリーサン 代表者)  きいてみよう  はなしてみよう
「形態食」を提供している飲食店の関係者  はじめてでも大丈夫

重度心身障がい児親子の会「スマイリーサン」が取り組んでいる、地域の飲食店に「形態食」を提供してもらい、普通食の飲食が困難な人でも外出を楽しめるようにバリアフリーを進める活動から、人々の暮らしの中で存在する無自覚な「差別」に気づき、真に「差別」のない社会を実現するために必要なことは何かを考えます。

こんな方におすすめ!

- 障がい者に関わるボランティア活動関係者、興味のある方
- 社会における「差別」に興味のある方
- 飲食店関係者
- ボランティア活動全般に興味のある方

21

2月13日(日)
10:00~12:00オンライン
定員: 30人

ロビイングでより効果的な社会課題の解決を目指そう!

出演 明智 カイトさん (特定非営利活動法人市民アドボカシー連盟 代表理事)  きいてみよう  はなしてみよう
大島 由起雄さん (特定非営利活動法人さずなメール・プロジェクト 代表理事)  はじめてでも大丈夫

ロビイング(ロビー活動)は聞いたことはあるがよくわからないという方が多いと思います。ロビイングにより市民活動と議会の結びつきが強化されることで、より効果的に社会課題の解決に取り組むことができます。本分科会ではロビイングの基礎と事例から、皆さんの活動に役立つ技術を学びます。

こんな方におすすめ!

- 中間支援組織
- ボランティア・市民活動に関心のある方
- 政治に関心のある方
- 社会をよりよくしたいと思っている方

22

2月13日(日)
10:00~12:00会場
定員: 10人オンライン
定員: 30人

コロナ禍でも活動を続けるために、助成金を活用しよう ～助成団体や中間支援組織にできること～

出演 大島 宏之さん (公益財団法人キリン福祉財団 常務理事・事務局長)  きいてみよう
根本 浩典さん (文京ボランティア支援センター 係長) ほか  はなしてみよう
民間助成団体役職員のみなさん

コロナ禍で市民活動団体の多くは新たな困難を抱えるようになりました。この分科会では、助成団体から、コロナ禍で困ったことや団体への支援を通じて感じたこと、今後の助成金の活用に向けて伝えたいことなどを報告します。さらに、両者を結び付ける中間支援組織の役割や活動を紹介し、団体が活動を止めないように応援したいという思いやそのためのアイデアを共有します。

こんな方におすすめ!

- 地域の活動団体(当事者団体、ボランティアグループ、NPOなど)
- 助成団体や、社会貢献をしている(今後考えている)企業・団体
- 社会福祉協議会・ボランティア・市民活動センターなど
- 中間支援組織

23

2月13日(日)
13:00~15:00会場
定員: 10人オンライン
定員: 30人

貧困問題の「今」を知る ～見えにくい外国人の貧困にどう取り組むか～

出演 ティック・タム・チーさん  きいてみよう
(一般社団法人在日ベトナム仏教信者会 代表会長・大恩寺ベトナム寺院 住職)  はなしてみよう

SDGsの17の目標の中で、「貧困をなくそう」を1つ目に挙げられています。コロナ禍で様々な貧困が加速的に進み、新たな問題や課題へと発展しています。本分科会では、日本における、困難を抱える外国人の現状を知り、私たちができる支援、取り組みについて考えていきます。

こんな方におすすめ!

- 外国人支援に携わっている方
- 貧困問題に携わっている方
- SDGsに興味がある方
- 貧困問題に興味がある方

24

2月13日(日)
13:00~15:00会場
定員: 15人オンライン
定員: 20人

対話から始めよう! 私たちの選択の自由と未来

出演 坂本 洋子さん (NPO法人mネット・民法改正情報ネットワーク 理事長)
山崎 精一さん (選択的夫婦別姓国家賠償請求訴訟 東京地裁立川支部原告)📞 きいてみよう > 👤 はなしてみよう
👉 はじめてでも大丈夫

2018年に国会に出された「選択的夫婦別姓制度等法案」に関連して、2021年6月に最高裁判所が「夫婦の名字を同じにしないと結婚を認めないとする現在の制度は違憲ではない」と判断しました。法案については、その成立を望む当事者だけでなく、多くの人々からも賛同があったものです。政治と暮らしは身近なもの。私達の選択の自由と未来のために、まずは対話から始めましょう。

こんな方に
おすすめ!

- 高校生 ● 大学生 ● 中間支援組織 ● ボランティア・市民活動に関心のある方
- 政治に関心のある方 ● 社会をよりよくしたいと思っている方

25

2月13日(日)
13:00~15:00オンライン
定員: 30人

市民活動の引き継ぎ方を考える

出演 市川 望美さん (非営利型株式会社Polaris 取締役ファウンダー)
関口 宏聡さん (NPO法人セイエン 代表理事)📞 きいてみよう
> 👤 はなしてみよう

市民活動にとって担い手の世代交代は不可避です。多くの場合、属人的に世代交代が行われてきたのが実態です。しかし、コロナ禍でメンバーの対面活動や共通体験が少なくなるなど、そうした世代交代は今後難しくなる可能性があります。そこで、最近引き継ぎを経験された方々をお招きして、これからの市民活動の引き継ぎ方についてみんなで考えます。

こんな方に
おすすめ!

- 市民活動の継続・引き継ぎ方に関心のある実践者

26

2月13日(日)
13:00~15:00オンライン
定員: 30人失われたキャンパスライフ。学生に及ぼす心理的影響を知る。
~若者と関わる大人たちができること~出演 現役大学生 (体験談)
菊池 春樹さん (東京成徳大学 応用心理学部臨床心理学科 准教授)📞 きいてみよう
> 👤 はなしてみよう

現在大学では対面授業が行われつつも、人と直接会う機会や活動はまだまだ制限されており、学生たちは我慢の生活を続けています。友達をつくる機会を失い、広いキャンパスの中で孤独を感じ、心を閉ざしている学生も少なくありません。今の大学生の現状と心理を知り、若者と関わる大人が今できることを一緒に考えてみませんか?

こんな方に
おすすめ!

- NPO、NGO、大学ボランティアセンター、中間支援組織などで学生・若者と関わる方

27

2月13日(日)
15:30~17:00会場
定員: 40人オンライン
定員: 200人

クロージング TVAC 40周年記念座談会

📞 きいてみよう 📍 はじめてでも大丈夫

「東京ボランティア・市民活動センターのこれまでとこれから」

出演 東京ボランティア・市民活動センターに関わっていただいているみなさん

参加
無料

東京ボランティア・市民活動センター (TVAC) は、1981年に「東京ボランティア・センター」として創設されてから40年が経ちました。この間、社会情勢が大きく変化し、TVACを取り巻く環境も変容してきています。さらに、新型コロナの影響を受けて、ヒトとヒトの関係性にも変化が表れてきている中、これからのTVACにはどのようなあり方が求められていくのでしょうか。これまでの歴史を振り返りながら語り合います。

- ボランティアフォーラムの分科会に参加する人のみ申し込みできます。

28

2月12日(土) 11:00~15:00
2月13日(日) 11:00~15:00

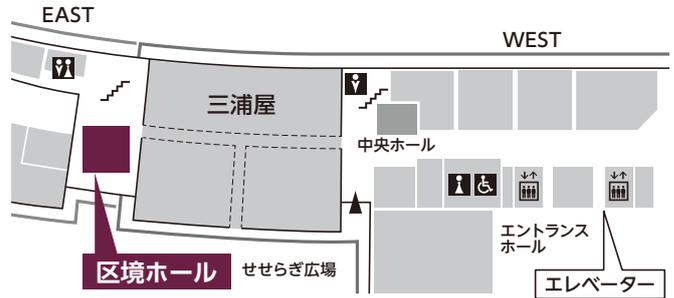
会場：飯田橋セントラルプラザ 1階 区境ホール

ふれあい満点市場

～ NPO・NGO の作品展示販売～

通販やインターネットでいろいろな物が買えるようになった時代。みなさんは、自分が普段なにげなく使っている物を作っている方を知っていますか？

ふれあい満点市場では、ボランティアグループやNPO、NGO、福祉作業所の方が、手作りの作品を展示販売しています。作品には、作り手の想いがこめられています。お買い物をしながら、作品ができるまでのことや、作品を作っている方のことを聞いていきませんか？



29

2月11日(金)～2月13日(日)
開催中いつでも

会場：飯田橋セントラルプラザ 10階 フリースペース

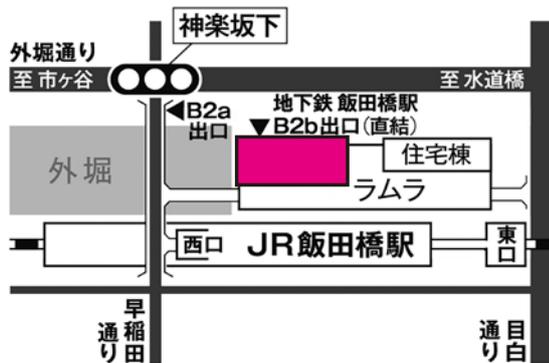
ボランティア・市民活動情報誌『ネットワーク』展

隔月で発行している東京ボランティア・市民活動センターの情報誌『ネットワーク』。フローラル信子さんが描く癒し系で幻想的な表紙の原画を中心に、本誌バックナンバーの記事の一部をご紹介します。



Information

会場案内



飯田橋セントラルプラザ

〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ 10階・12階
TEL:03-3235-1171

アクセス

- ・JR総武線 飯田橋駅 西口改札右手
- ・地下鉄(有楽町線・南北線・東西線・大江戸線) 飯田橋駅 B2b出口

●● 託児サービス ●●

託児サービスをご希望の場合は、**1月14日(金)まで**に東京ボランティア・市民活動センターへお問い合わせください。

●● サポートが必要な方へ ●●

車いすの介助や、手話通訳等必要な配慮がありましたら、**1月14日(金)まで**に東京ボランティア・市民活動センターまでご連絡ください。

TEL:03-3235-1171 FAX:03-3235-0050

●● 車いすやベビーカーをご利用の方へ ●●

JR 飯田橋駅をご利用の場合は、西口にあるエレベーターをご利用ください。地下鉄飯田橋駅をご利用の場合は、有楽町線及び南北線の中央改札付近のエレベーターをご利用いただき、地上出口(外堀通り沿い)からセントラルプラザの敷地内に進んでください。

ボランティア募集

開催期間中、机などの消毒、誘導、満点市場などにご協力いただけるボランティアを募集します。

お申し込みは、フォーラム特設サイトまたはお電話にて受け付けます。

申し込み締め切り 1月20日(木) ボランティア参加者説明会 1月22日(土)・29日(土)

東京ボランティア・市民活動センターとは

東京ボランティア・市民活動センターは、ボランティア・市民活動相談やNPOの設立、運営、会計相談、情報提供、研修、ネットワーキングに取り組んでいます。また、会議室や印刷機の利用、貸し出しなども行っています。ちょっとした打ち合わせにお使いいただけるオープン・スペースもありますので、どうぞお気軽にご利用ください。

参加費

1分科会 1,000円

高校生以下または18歳未満の方

※学生証や年齢のわかるものをご提示いただく場合があります。

無料

次の分科会・
特別企画は
入場無料です

- ・No.1「オープニング『コロナ禍からの、ニューボランティア』」
(2月11日(金) 13:30～15:00)
- ・No.18「会場&オンライン交流会『オモシロイ』」
(2月12日(土) 18:30～19:30)
- ・No.27「クロージング『東京ボランティア・市民活動センターのこれまでとこれから』」
(2月13日(日) 15:30～17:00)
- ・No.28「ふれあい満点市場～NPO・NGOの作品展示販売～」
(2月12日(土)・2月13日(日) 11:00～15:00 飯田橋セントラルプラザ1階区境ホール)
- ・No.29「情報誌『ネットワーク』表紙原画展」
(2月11日(金)～2月13日(日) 開催中いつでも 飯田橋セントラルプラザ10階フリースペース)

ご参加の皆様へ

- ・主催者の判断により、開催が中止または、内容が変更になる場合がございます。
- ・許可がない限り、分科会の撮影、録音、録画、二次使用はご遠慮ください。
- ・主催者の判断による中止の場合を除き、**一旦ご入金いただいた後の返金はいたしかねますのでご了承ください。**

会場参加の方へ 新型コロナウイルス感染症等の予防のために

- ・マスクの着用をお願いします。
- ・発熱がある場合や体調不良の場合は、ご参加をお控えください。
- ・参加後に、新型コロナウイルス感染症等の感染が判明した場合は、速やかに、東京ボランティア・市民活動センターまでご連絡ください。TEL:03-3235-1171

オンライン参加の方へ

- ・当日は、Zoomを使用します。**最新バージョン**のダウンロードをお願いします。
- ・インターネット接続が必要です。接続に係る通信料や設備は、参加者各自の負担となります。
- ・スマートフォンからの接続は、不安定な場合が多いため、パソコンからの接続を推奨します。
- ・分科会によっては、ブレイクアウトセッションの機能を使用して、少人数のグループでお話していただく場合があります。カメラ、マイクの機能が使えるよう、また周囲の環境にも配慮してご参加ください。
- ・1つのデバイスから複数人でご参加いただくことはできません。
- ・参加費を入金していただくと、ZoomのID/パスワードが書かれた参加券(PDF)がダウンロードできます。
- ・出欠の確認のため、表示名を、申し込み時の「名字」がわかるように設定いただくようご協力をお願いします。
- ・一日のなかで会場参加とオンライン参加の分科会に連続して参加する場合には、10階ボランティア・センターのフリースペースでWi-Fi利用が可能です。その際、備品の貸し出しはしていません。イヤホンマイクとパソコン等は必ずご持参ください。また、フリースペースは、様々な方が利用されます。必ずイヤホンマイクを装着してご参加ください。
- ・Zoomを使用するのが初めて等で不慣れな方は、接続テスト日(2022年1月23日)をご利用ください。詳細は申し込み後に発行する参加券(PDF)をご覧ください。

申し込み・支払い方法

(1) 東京ボランティア・市民活動センター ホームページ
<https://www.tvac.or.jp/vf/>
からお申し込みください。

フォーラムホームページ QRコード



(2) ホームページからの申し込みがむずかしい方は、**参加申込書(裏面)に必要事項をご記入の上、FAXまたは郵送のいずれかでお申し込みください。**

※書類に不備がある場合や、定員に達している場合など、申込者様にお問い合わせをさせていただく場合があります。

(3) お支払い後に参加券(PDF)を受領してください。

※会場での現金受付はできません。必ず事前に支払いをお願いします。

※グループでお申し込みをされたい場合も、お手数ですが一人分ずつ申し込んでください。

※定員に達次第、締め切りとなります。

※分科会によってはパンフレットから内容を一部変更する場合があります。

※個人情報東京ボランティア・市民活動センターが適切に管理し、NPO・ボランティアに関する研修等のご案内に使用させていただきます。個人情報の取り扱いに関する方針はホームページをご覧ください。

ホームページから
お申し込みの場合

申込ページへ移動

分科会と参加形態の選択

※参加したい枠をすべて選択(カートに入れる)してください。
※開催時間が重なっている分科会は選べません。
※右上のカードで申し込み内容を確認の上「ご購入手続き」へ。

連絡先情報を入力

※入力後「お支払いへ進む」をクリックしてください。

支払い

コンビニ払い・銀行振込・各種クレジット
※クレジットカードの場合はカード番号等を入力してください。
※コンビニ払い、銀行振込の手数料はご負担ください。また申し込み日より**7日以内**に支払いを完了してください。

参加券(PDF)をダウンロード

※入金確認後、メールで参加券(PDF)のダウンロードリンクが届きます。

FAX、郵送で
お申し込みの場合

「参加申込書」に記入

FAX送信

お支払い情報の受信

※お支払い情報がメールで届きます。
※メールアドレスがない方へは、FAXもしくは郵送いたします。
※申込後、5日以上連絡がない場合は、お電話ください。TEL:03-3235-1171

支払い
コンビニ払い・銀行振込

※支払い時の手数料はご負担ください。また申し込み日より**7日以内**に支払いを完了してください。
※郵送の場合は届くまでに時間がかかる分、支払いの期間が短くなりますのでご注意ください。

参加券の受領

※入金確認後、メールで参加券(PDF)のダウンロードリンクが届きます。
※メールアドレスがない方へは、FAXもしくは郵送いたします。

お支払いが間に合わない場合は、東京ボランティア・市民活動センターへご連絡ください。



市民社会をつくるボランティアフォーラム TOKYO2022

ふりがな		ご所属	
お名前			
ご住所 〒 -		TEL ()	
※行事保険加入のため必ずご記入ください。		FAX ()	
E-mail		必要な配慮について(例:手話通訳・車いす介助など)	
※参加券(PDF)の送付や、中止、変更の際の連絡に使用しますので、必ずご記入ください。E-mailのない方は、郵便で送付します。			
入金方法	コンビニ払い・銀行振込み ※手数料がかかります。	高校生以下または18歳未満ですか	はい・いいえ

参加したい分科会 (オンライン参加か会場参加か選ぶ) に○をつけてください。

開催日	時間	オンライン参加	会場参加	分科会番号 (詳細)	分科会名
11日 (金)	13:30~15:00			1(p.1)	オープニング「コロナ禍からの、ニューボランティア」(参加費無料)
				2(p.1)	急増する孤独死は人ごとではないPart3 ～コロナで進んだデジタル化 孤独・孤立と高齢者のつながりづくり～
	16:00~18:00			3(p.1)	孤独・孤立に立ち向かう～連携でつくりだす新たなセーフティネット～
				4(p.2)	オリンピック・パラリンピックのボランティアはこれからの日本を支える力(レガシー)になるのか?
12日 (土)	10:00~12:00			5(p.2)	地域と学校のかかわりの継続や開始のための工夫を集めよう!
				6(p.2)	「子ども基本条例」から私たちの思いをひろげ、つながるために
				7(p.2)	「2025年問題」高齢者男性を置き去りにしてはならない ～男性の介護は厳しく想像を超える～
			—	8(p.3)	私が見つけた「ボランティアの価値」
	13:00~15:00			10(p.3)	ボランティア・市民活動センターに障がい当事者の参画はできている? ～みんながつくる、みんなのセンター～
			—	11(p.3)	地域で、いろんな分野で活動しているみなさん! 災害が起きたらどうなるか話してみませんか?
			—	12(p.4)	みんなで考える! ワカモノ活躍法
	16:00~18:00			13(p.4)	病気のある子どもたちの地域での学びの場づくりをめざして ～NPOでの相談からみえる課題とかかわりの可能性～
				14(p.4)	コロナ禍での居場所づくりの変容～外部支援者から見た居場所づくりの現状と課題～
			—	15(p.4)	地域が動くと社会が変わる!～みんなで行動する、ソーシャルアクションって?～
18:30~19:30			16(p.5)	企業とのパートナーシップで“ミライ”を変える～企業連携の実際と可能性～	
		—	17(p.5)	発達障害がある父母のための子育て支援について考える	
13日 (日)	10:00~12:00			18(p.5)	会場&オンライン交流会「オモシロイ」(参加費無料)
				19(p.5)	温暖化は止められる!?～東京でできること～
			—	20(p.6)	重度心身障がい児の夕食を実現する活動から「差別」を考える。
	13:00~15:00			21(p.6)	ロビイングでより効果的な社会課題の解決を目指そう!
				22(p.6)	コロナ禍でも活動を続けるために、助成金を活用しよう ～助成団体や中間支援組織にできること～
				23(p.6)	貧困問題の「今」を知る～見えにくい外国人の貧困にどう取り組むか～
			—	24(p.7)	対話から始めよう! 私たちの選択の自由と未来
15:30~17:00		—	25(p.7)	市民活動の引き継ぎ方を考える	
		—	26(p.7)	失われたキャンパスライフ。学生に及ぼす心理的影響を知る。 ～若者と関わる大人たちができること～	
			27(p.7)	クロージング TVAC 40周年記念座談会 「東京ボランティア・市民活動センターのこれまでとこれから」(参加費無料)	

※分科会番号No.9はフィールドワーク

12日 (土)	10:00~12:00			9(p.3)	フードロスから自分にできること考えよう。「食」でつながる～フードバンク見学～
---------	-------------	--	--	--------	--

問合せ・申込先

東京ボランティア・市民活動センター

〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1 飯田橋セントラルプラザ10階 TEL: 03-3235-1171 FAX: 03-3235-0050

HP: <https://www.tvac.or.jp/vf/> Facebook: @voluntaryforumtokyo (市民社会をつくるボランティアフォーラムtokyo) Twitter: @voluntaryforum Instagram: @voluntaryforum